



小林萌



この度、りとるらいふに入職致しました小林萌と申します。

新潟市秋葉区の出身で、甘いものが大好きです。初心を忘れず、笑顔を忘れず、精一杯頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

出崎美貴



4月からりとるらいふの一員になりました出崎美貴です。まだ未熟な私ですが、少しでも多くのことを吸収できるよう一生懸命頑張ります。また、佐渡出身なので上越のことも知りたいと思います。

これからよろしくお願い致します。

いとるの新しい仲間たち ～新入職員ご紹介～

4月からみんなていきるの一員になりました、横田さゆみです。

横田さゆみ



生まれも育ちも直江津、地元大好き人間です！これからみなさんとたくさんの時間を共有していけたらと思っています。よろしくお願いします。

小松辰也と申します。私は保育系の大学に通ってました。実習の際に障害を持った子どもと関わったことで障害児や障害者の支援をしてみたいと思い、入職しました。先輩方のご指導を受け止め、りとるらいふの一員として励んでいきたいです

小松辰也



小山実季



はじめまして。4月から職員となりました、小山実季と申します。

富山県の短期大学で勉強してきました。みなさんと一緒に色々な経験をして成長していきたいです。

これからよろしくお願い致します。

この春からりとるらいふの職員となりました、山本恭平と申します。

これまでは身体障がい者施設で気づけば5年も働いていました。

“役に立つ自分になる”ことを目標に未知の職場に飛び込んできました。偉そうなことばかり言っていますが、利用者や仲間の支えなくして仕事

できない男です。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



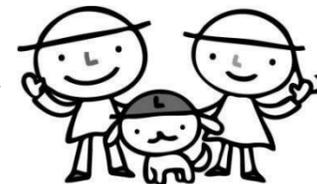
山本恭平



いとるらいふ通信

(社福) みんなていきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2017年4月

4月になりました。やわらかな春の日射しが心地よく、春の訪れを感じています。4月は新たなスタートの月ということで、不安と期待が入り混じっている…そんな方も多いのではないのでしょうか。そんなときこそ笑顔を大切に毎日を過ごしていきましょうね◎
それでは新年度最初の通信をお届けします♪



～平成29年度各事業重点目標～

新年度を迎えました。
今年度の各事業所重点目標を発表させていただきます。

生活介護事業所きら

- ①工賃アップ（継続）
- ②利用者支援に向けたスキルアップの強化

短期入所事業所ぶあん

- ①ご利用者に安心安全に過ごしていただく
- ②稼働率平均 90%を目指す
- ③新規利用者の獲得を目指す

放課後等デイサービス事業所ららん

- ①安心安全な室内環境を整える
- ②室内プログラム（制作）の充実を図る
- ③早期の外出等のプログラムの再開を目指す

放課後等デイサービス事業所にご

- ①個別ニーズに応じた支援
- ②職員の専門性の向上と情報共有の徹底
- ③大島グループ内放デイの連携の強化

今年度の重点目標がきちんと達成できるよう日々精進してまいりますので、ご利用者の皆様も関係者の皆様も、どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。





卒業パーティーを行いました



この春、3月に卒業を迎えられたご利用者様とご家族をお招きし、児童部合同卒業パーティーを3月12日に宇喜世にて開催いたしました。式典では、ご卒業される皆様へ、職員の気持ちがこもった感謝状と、「素敵なお大人になってほしい」という願いを込めて、男の子はネーム入りの財布、女の子はネーム入りの口紅をプレゼントさせていただきます。

式典の後の昼食会では、鏡開きをしました。割ってみると中から風船が飛び出る仕掛けもあり大盛り上がり。その他にはらん、にこでの活動の写真や相談員の皆様からの祝いメッセージを動画にして皆様に見ていただきました。

今回、残念ながら御出席できなかった皆様もいらっしゃいましたが、御出席していただいた皆様は大貴のふぁみりあ時代から長年に渡りご利用していただいた方々でした。当時のことを思い出しながら話をしていると、目の前にいる卒業生の皆様が本当に大きく、強く成長されたのだと感じました。

卒業して、らん、にことは関わる事が無くなってしましますが、またどこかで素敵なお大人になった姿を見せてくれることを期待しています。



ランチに出かけてきました！

～きらの活動より～

3月20日、春分の日ということでランチに出かけました。

お天気にも恵まれ、レストランまで久しぶりに歩いて出かけると、春のあたたかさを全身に感じる事ができました。

お店に着いてメニューを開くと、皆さん嬉しそうに、そして真剣な表情で食べたいものを選びました。ハンバーグ、オムライス、パスタ…それぞれ食べたいものを注文すると満面の笑顔です。デザートまでしっかり食べたのでちょっとカロリーオーバーでしたが、帰り道もしっかり歩いて、さわやかな汗をかいて帰ってきました。

今年度のきらはこのように外へ出ていく機会を増やしていきたいと思っています。行事で出かけるだけでなく、工賃アップの取り組みとして車いすの拭き掃除やリネンたたみなど、お仕事としても地域へ出る機会を作っていきたいと考えています。



<mote 雑貨のご紹介>

新色の春向けポーチが完成しました。こしはらくはモノトーンや単色系で冬モード全開でしたが、春になり気持ちもポカポカするような、カラフルな反物がたくさん仕上がってきています。春アイテムとして、持っているだけで楽しい気分になるはず！

同じように、春夏商品をこれからどんどん揃えていきますので、みなさま是非 mote へ足をお運びください*



春に思う

障害福祉事業部りとるらいふ 事業部長 丸田明久

春が来ました。雪国にとっての春は『活動の再開』『旅立ち』など特に季節感が強く感じますね。昨今は4月まで平野部に雪が残ることはほとんどなくなっていますが、かつては4月の入学式前後まで雪が残っていたことも多かったように思います。

また、今では入学式頃には桜が開花していますが、かつては入学式後だったような記憶があり、思えば高校を卒業して都会に憧れを抱き上京した際、桜の中での入学式が新鮮だった記憶があります。もっとも今や都会での入学式時期にはすでに葉桜になっていたりしますが。

さて、4月という月は日本では大きな『節目』の月です。日本人の多くが『桜』に多くの思い入れを持つと言われる。そしてその桜の時期に様々なシステムが変わります。入園、入学、入社などなど。私たちの法人も変化がありました。変化は良くも悪くもあるものであり、そして良くも悪くも必然であり、携わるもの全員の経験になっていきます。

私自身、変化がないことにつまらない感を持った時期があり、同時に【平凡】であることは「つまらなく、面白くないもの」と感じていたことがありました。ですが今では【変化することなく】【平凡】であり続けることは、実はどんなに難しく、尊いのかということを感じています。

自分の周りには様々な変化があり、そして様々なニュースや情報が流れます。世界のある地域では未だ『明日の命の保証』さえままならない【平凡とは程遠い】状況すらあります。また、貧富の差も大きくなっており、様々な【平凡】であることが困難な状況が厳然とあります。ですので、実は『変化なく暮らせること＝平凡ではなく非凡』であることと考えるを得ません。

今日は情報社会であり、様々な情報を取得できる一方で、世の中に情報がありすぎることで、逆に混乱も生まれていたりもしています。情報はとても大切であり、ないよりはあることがどれだけ大切であるかは言うまでもないことでしょう。しかしそれは、自らが自己責任で情報を取捨選択し、フィルターにかけることが求められるということなのでしょう。

取捨選択といっても容易ではなりません。では、そのためには普段から何をしていかなければならないのでしょうか。

私自身、いまでは4月だから、新年だからと意気込むことはなくなり、普段通りに過ごすこととなっています。一つ一つ、日々淡々と行うことをやっていくのみです。

ただ、若い人々には『節目』を意識し、その『節目』で自分自身と周りを見つめていくことをしたいと願っています。すべてが経験であり、財産にできるのだと信じたいと思います。様々な経験をして、小さくまとまることなく、自分の属さない世界を観る・知ることに積極的になって欲しいところです。それは同時に【平凡の大切さ】に気づくことにもなると思います。

すべてが情報化され、自身の能力や力もハッキリ見せられてしまう現在、むしろアナログな経験が実は必要なのではないかと感じます。そのような経験こそが自ら情報を選択し、フィルターにかけられるベースになってくれると信じたいと思います。そのために、ある小説とドラマでの言葉である【100の失敗よりも、1つの後悔をしたくない】という感覚をもってもらえたらと思います。失敗を望んでする必要はありませんが、失敗を恐れないでもらえるようにバックアップできればと思います。

まずは自宅と職場や学校を含めた、日常エリアでの生活だけではなく、非日常エリアへ出かけることでしょう。また本や映画でも自分の好きな分野以外を意識して取り入れてみることでしょうか。

年齢を重ねると余計に非日常へ出かけることが億劫に、そして不安になってしまいます。故に、意識して若いうちに『非日常』へ出かけて欲しいと願っています。自分自身でも、国内国外を含めた、一人旅を通じての様々な経験は財産になっています。手段は人により様々でしょうが、自分の知らない世界を知る工夫が自分に刺激と経験を与えてくれると思います。

情報はネットの上でいくらでも知れる時代ですが、できるだけ自ら経験をして、自身のフィルターを通して、自身の『五感で感じる、自分の肌で知る』ことが大切でしょう。そしてそれはアナログな世界です。香りや匂い、熱感、音、肌・皮膚の感覚、360度での視界感覚などということです。ある映画の中でのコメントで好きなフレーズの一つ（かなり有名なフレーズですが）【Don't Think Feel !!】がまさにそれなのかもしれません。考えることは大切ですが、考えるとともに「感じ」「行動する」ことでしょう。

ただし、自身が何を目標しているのかというゴールをしっかりと意識することは必要であり、さもないと目のことだけになってしまい、結果として「つまらない」「自己決定とは遠い＝させられている感」と感じてしまうことにもなりかねないでしょう。

『山の頂上は一つ。されどそこへたどり着くルートは様々である。大切なのは山の頂がどこなのかを誤らないこと。』だと思います。

4月のスタート。

非日常に身を置き、自身の幅を広げる努力と工夫を行うことで、様々な人を、自分自身をより理解できるようになっていくのではないのでしょうか。『節目』にあたり書いてみました。